

## 3期生の最終成果報告会が開催されました

2月13日（土）3期生の2年間の学びの集大成の場として、最終成果報告会を開催しました。Zoomによるオンラインでも配信した報告会には、学外からも多くの参加者がありました。

名 前	発 表 テ ー マ
大井 賢	教員の本質的な「気づき」を促す対話のプロセスの設計とその働きかけ －実践知と学問知の往還によるアクションリサーチ－
尾上 佳代子	「地域とともにある学校」としての学校と地域の関係性を問い直す －「支援」から「連携・協働」への展望－
加藤 大輔	OPPシートを活用した授業改善に関する研究 －小学校4年理科における学習を事例として－
川上 文香	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて －コロナ禍における対話的活動の取り組みを通して－
川上 美由紀	つまずきと、その手立てを共有する小中連携の研究 ～チームで不登校の未然防止を考える～
濱口 美佐	中学校英語における英作文指導に関する研究 -学習を促進するための足場かけを意識した指導法に注目して-
藤川 純子	特別な教育的支援ニーズのある外国ルーツ児童への 学校における支援のあり方に関する研究
山本 裕史	重度の障害を持つ子どもたちがともに学ぶための 「対話のテーブル」とそれにつくための支援
吉岡 竜吾	教科の枠を越えて活用できる力の育成 －【考えるための技法】に着目して－
西田 郁也	初等教育段階における「自己内対話」を促す教師の働きかけについて －「深い学び」を目指して－
西田 有貴	中学校における「使える英語」を目指したスピーキング指導
前葉 愛理	「対話的自己」の育成を目指す国語科授業づくり ～書くことによる対話に着目して～

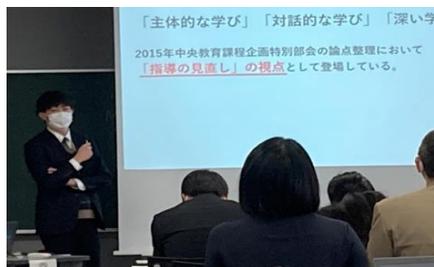
3期生担任として2年間の成長を見守ってきた教員の声、発表を終えた3期生の感想です。

## 最終成果報告会を終えて

3期生担任 瀬戸健一

3期生の皆さん、最終成果報告会、お疲れさまでした。2年間、各教科のレポート課題に積極的に取り組み、各種実習や演習などもこなしながらの研究報告は、とても貴重なものでした。振り返れば、途中、2度の引っ越しがありました。旧校舎から仮校舎、そして、新校舎へと慌ただしい日々があり、昨年からのコロナの影響も想像を超えたものがありました。アンケート調査やインタビュー調査、教育実践や学校訪問など当初の研究予定が、成り立ちにくい状況は、様々な葛藤を抱えての研究プロセスであったと思います。

そんな中でも、明るさを失わず、より个性的で、協働的であった3期生の皆さんにエールを送ります。様々な逆境を乗り越えて、「実践研究という井戸を、深く掘ること」を皆さんが実践されました。3期生の皆さんの明日からの教員生活が、より豊かなものになりますよう祈念しております。



2年間の学修の中で一人一人が軸・問題意識を持ち、深く深く井戸を掘るように取り組んできました。全員の研究が目の子どもの未来を見据えた有意義なものであったと思います。また、コロナ禍からオンラインの実施でしたが、報告に対してリフレクションを行なう形は変わらず、報告者だけでなく聞き手も学びを広げ、深める機会となりました。自身の学びが理論と実践の往還を経ながらできたことへの感謝、また報告会を経て見えた新たな課題を見つめなおし、今後の教員生活で活かしていきます。（教育実践力開発コース 3期生 西田有貴）

今年の成果報告会は、コロナ禍ということもあり、ZOOMでの開催でした。そのことによって大学院関係者以外の方もたくさん参加していただきました。私の現任校の先生方にも多く参加していただきました。その中で、改めて現場と研究の考え方・感じ方の隔たりを感じることもありました。教職大学院は、「理論と実践の往還」を大切にしています。現場の感覚や経験、瞬時の判断の大切さ、そこに理論が裏付いたときの強さをこの2年間で学ぶことができました。両方を経験した自分にしかできないことを考え、今後生かしていきたいと思います。改めて2年間学ばせていただいたことに感謝します。（学校経営力開発コース 3期生 吉岡竜吾）



## 中間報告会－長期実習に向けて－

4期生は2月4日（木）に中間報告会を行いました。オンラインによるポスターセッションで、1年かけて深めた学修テーマと次年度からの実習プラン等を発表しました。院生の感想をお伝えします。

第3回中間報告会において、4期生それぞれがこの一年間の研究の総括をしました。これまでとは違い、様々な制約もあった中、私たちが学びを深めていくことができたのは、たくさんの方々への支えがあったことを実感し、感謝しています。報告会でいただいた言葉を、もう一度自分の中で整理し、この一年間の学びをまとめていくことで、来年度のより実践的な研究へとつなげていきたいと思っています。ありがとうございました。

（学校経営力開発コース 4期生 藤井 俊）

まず、コロナ禍の中、中間報告会の開催に尽力された三重大学教職大学院の先生方及び、関係者の方々に対して、お礼申し上げたいと思います。ありがとうございました。

この中間報告会は、学びと課題がある報告会であったように思います。中間報告会に向けて、いろいろ考えた上で発表を行いました。質疑応答を通して、不十分な点が多々あると感じました。しかし、質疑応答で教えていただいたことは、私自身の新たな気づきや学びになりました。中間報告会で学んだことをもとに、連携校実習で、さらに学修テーマを深めていきたいです。

（教育実践力開発コース 4期生 山本悠太）

編集・発行 三重大学大学院教育学研究科 教職実践高度化専攻（教職大学院）広報担当

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577 ☎ info-mkd@edu.mie-u.ac.jp

三重大学教職大学院ウェブサイト <https://mkd.edu.mie-u.ac.jp>